

児童発達支援自己評価結果

公表：令和5年2月1日

事業所名 幼児教室とことこ

職員数 9 回収数 9 割合 100%

※ 無回答は数値に含んでいないため、回答数と一致しません

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通常クラスと就園児クラスのスペースを分けたり、時差を付けて混乱のないようにしている。 ・通常クラスと就園児クラスが一緒の時、就園児クラスの活動する場が狭く、無理があるように感じる。
	②	職員の配置数は適切である	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ適切と言えるが、もう少し余裕があるとひとりひとりにしっかり、目を向けられると思う。 ・急な職員の休みがあると少ないと感じることがある。一方ボランティアさんの協力ありがたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされている	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が古い為、いろいろ工夫して使っている。 ・ロッカーが高くて自分で荷物を出し入れ出来ない子がいたりするので、改善出来たら良いと思う。 <p>→検討、工夫していきたい。</p>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの老朽化が気になる。毎日しっかり清掃しているが、清潔感がある見た目にならないのが残念に思う。 ・施設は古いが、掃除をはじめ、おもちゃや使用した教材、床、手すりの消毒を日々行い清潔に努めている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員への伝達が完璧ではないと感じている。 <p>→伝達の確認を工夫したい。</p>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は今後検討していきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのやりとりを大事にし、支援に活かしている。 ・ひとりひとりの成長や課題に合わせて個別支援計画を作成している。具体的に分かりやすい支援計画に努めている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	0	・「地域支援」は機会を作る努力が必要と感じる。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	0	・職員間でよく話し合い、よりよい支援を行えるよう努めている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	0	・グループのリーダーが主になり、各日の保育リーダーに伝え、共有している。 ・立案はチームでなくメイン（グループのリーダー）の先生が行っているように思う。 →グループでの立案が出来るように検討していきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	9	0	0	・日々のプログラムに加え季節に合わせた手遊びや製作物、また年間行事を感じられるような様々なプログラムを用意している。 ・職員が教材やプログラムを常に考えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	9	0	0	・基本は集団活動だが、個々に合わせた参加の仕方を工夫している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	・朝、話し合いをして打ち合わせをしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	0	・支援終了後、その日に気付いた事を話し合っている。 ・その日の記録を書く時に次回の療育に活かせるように話をする。 ・簡単に話すことはあるが毎回ではないので、もう少し共有できるとよい。 ・チームワークは良いと思う。よく子どもの話をしていて支援の難しい子には具体的にどう支援するべきか会議や研修を行い共有できるようにしたい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	・気付いた事を記録し、次にその子を担当する職員に伝える。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	0	・保健相談所や子ども発達支援センター、家庭支援センターなどと必要に応じて連携している。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	-	
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	-	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	0	・移行する際の支援シートなどの作成や必要に応じて訪問や電話支援を行っている。 ・コロナ禍の状況もあり、以前ほど見学したりする機会が減っている。
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	0	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	⑳ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	0	・併用利用しているお子さんの連携をしているが、全員ではない。
	㉓ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2	2	・園ではないが、児童館のイベントに参加している。また乳幼児タイムと一緒に遊んでいる。 ・コロナ禍で交流を控えている。
	㉔ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	1	1	・児童館、図書館等も利用しており、地域会議にも代表が参加している。
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	・子どもの様子、保護者の様子を見ていつもと違うと感じる時、声かけするように心がけている。 登園、降園時に伝えあい、保育に活かしている。
	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	1	0	・アドバイスをを行う程度である。 ・親子参加のプログラムを設けたり、ペアレントトレーニングの場への橋渡しをすることもある。 ・心理相談員に相談することもある。
保護者への説明責任等	㉗ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	
	㉘ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	0	
	㉙ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0	・日々保護者に声をかけ、話しやすい関係を作るように努めている。 ・保護者の悩み事があれば聞く。自分では難しい時、他職員や室長に相談し、アドバイスをもらっている。
	㉚ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	0	・コロナ禍でなかなかできないが保護者会を通して交流している。 ・保護者会の回数を増やしたいが、増やせない状況。
	㉛ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	・メールや電話、面談をすぐに行っている。 ・日常のちょっとした困りごとにも丁寧に対応するように心がけ、必要があれば時間を取って面談をしている。
	㉜ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	・毎月おたよりを出しているが、可能ならば写真を入れたものを時々出すと保護者は様子が分かって嬉しいのではないかとと思う。 →お子さんによっては通所を周囲に知られないようにしている保護者もいるため、写真の扱いが難しいのが現状。
	㉝ 個人情報の取扱いに十分に注意している	9	0	0	・個人の名前の書いてある物は、すべて教室内でシュレッダーをしている。
	㉞ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2	・コロナ禍であり、近年はないと思う。 ・地域の人を招くような行事は難しいが、周知してもらおう努力はしている。
	非常時等の対応	㊱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	0
㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		8	1	0	・定期的に行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	9	0	0	・予防接種についての把握が足りていないので検討していく。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	0	・わからないことがあれば詳しく聞く。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	1	・身体拘束は基本的にしていない。 →組織での話し合いは行っているが、今まで該当する事案はなかった。